

あ げ お

あなただけのほんきをあげるまち



上尾市

主な内容

審議された主な議案	2ページ
各委員会委員の構成が変わりました	6～7ページ
決算審査	8～9ページ
所管事務調査	10～11ページ
市政に対する一般質問	12～15ページ
委員会活動	16ページ

議会 だより



鬼は外 元気いっぱい鬼退治

雪の舞う2月2日、市内の保育所では節分にちなんで豆まきが行われました。

ホールに突如として現れた鬼2匹に対し、泣きながら豆を投げつける子もいれば、勇敢に立ち向かう子も。元気いっぱいの豆まきにより、見事鬼退治が成功しました。今年もたくさんの福が訪れることでしょう。

第184号
平成30年(2018)
3月号

発行 / 上尾市議会
編集 / 議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町 3-1-1
電話 048-775-9467

Pick Up

平成29年12月定例会 審議された主な議案

12月定例会で審議された議案は、市長提出議案および諮問が 8 件、議員提出議案 2 件、委員会提出議案 1 件の 11 件で、全て原案のとおり可決しました。また、9 月定例会で閉会中の継続審査として決算特別委員会に付託した平成28年度各会計歳入歳出決算議案 6 件についても原案のとおり認定しました。

議案第65号 平成29年度上尾市一般会計補正予算（第 5 号）

平成29年度上尾市一般会計補正予算を可決

歳入歳出補正額 3 億8993万8000円

生活保護費や障害者自立支援医療費の増加に伴い見込まれる予算不足への対応など、当初予算編成後の状況の変化を踏まえ編成

○障害者自立支援医療費の増加

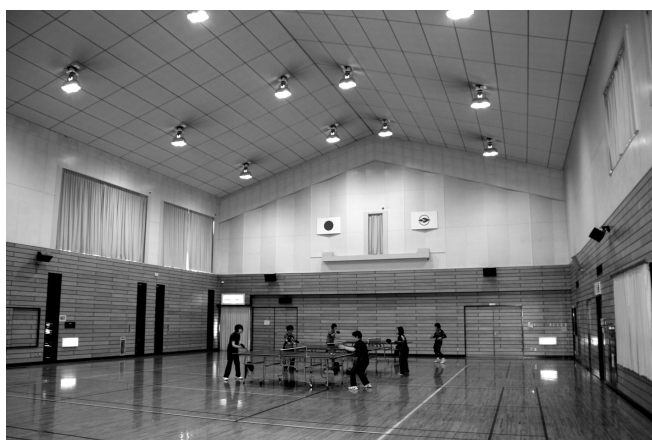
身体障害者手帳所持者が障害の程度を軽減するため受ける医療費の増加に伴い見込まれる予算不足への対応



12月定例会で提案説明する畠山市長（後ろは道下議長）

○生活保護費の増加

生活保護受給者の増加などに伴い、生活扶助、住宅扶助、医療扶助に対する見込まれる予算不足への対応



大谷公民館体育館

○大谷公民館体育館空調設備を改修

点検結果に基づき、大谷公民館体育館空調設備の改修工事を行うもの

※その他の議案名や議決結果については、5 ページ「平成29年12月定例会提出議案とその結果」をご参照ください。

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。

以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

文教経済常任委員会

補正予算
西貝塚環境センター
の発電機を改修

へメモ 定期点検結果に基づき、西貝塚環境センターの発電機の修繕工事を実施するとともに、修繕期間中の施設用電力を外部から購入する費用を計上。
委員 年末に2号炉のボイラー管破損事故が起きたが、定期点検中にこの破損箇所を発見できなかったのか。

答 定期点検では、ボイラーの点検や工事も行っているが、今回発見された場所は定期点検対象外の部分であった。
委員 故障や不具合が相次いで起こったことを受けて、再発防止策や予防策をどう考えているのか。
答 定期点検の対象外部分について

でも定期点検項目に加えるほか、経年劣化が認められる箇所については必要に応じて交換し、今回の事象から修繕が想定されるものについては修繕を検討するなど、メンテナンス業者と共に協議しながら進めていきたい。



発電機を現地調査

総務常任委員会

補正予算
マイナンバーカードな
どに旧姓併記が可能に

へメモ 国が進める女性活躍の推進に向けた取り組みとして、希望者にマイナンバーカードや住民票などへの旧姓の併記を可能とするため、システムの改修を行う費用を計上。

委員 国は、女性の活躍のために、マイナンバーカードや住民票などに旧姓の併記を可能とするとしていますが、旧姓を併記することが、女性の活躍にどうつながると考えているのか。

答 仕事などで旧姓と戸籍上の姓を使い分けている女性にとって、公的な書類に旧姓が併記されることにより、旧姓での身分証明が容易となる。このことにより、旧姓で仕事を続けることへのハードルが下がり、これまで築いてきたキャリアの継続にもつながる。

委員 現在のマイナンバーカードの発行枚数や、利用者の割合を伺いたい。
答 平成29年12月末現在で2万5619枚であり、交付率は11.2%である。

都市整備消防常任委員会

補正予算
債務負担行為を設定

へメモ 債務負担行為とは、翌年度以降の支出を伴う契約などの行為のこと。平成29年度中に水質検査業務、薬品購入などの入札・契約の事務手続きを行い、平成30年度当初から業務を実施するため、

議会の議決を得るもの。

委員 昨年度に比べ増減額が生じている業務について、その理由を伺いたい。

答 1点目、次亜塩素酸ナトリウム購入予定量は、近年の配水量の減少に伴い、購入量を見直したため減額となった。

2点目、水質検査・総合管理業務は、今まで調査してきた水質検査項目のうち一部を終了したため減額となった。

3点目、定期管洗浄業務は、実施回数を3回増やしたため増額となった。

4点目、管洗浄業務（北部系）は、北部系の区域内において、弁栓調査として仕切弁、空気弁、消火栓などの現況調査を新たに追加するため増額となった。

健康福祉常任委員会

補正予算
こどもの城第2駐車場
用地を返還

へメモ 児童館こどもの城第2駐車場用地の賃貸借契約満了に伴い、所有者に土地を返還するため、原状回復工事を実施するための費用を計上。
委員 代替の駐車場がまだ確保で



こどもの城第2駐車場

まず、隣接地のショッピングセンター駐車場の利用について確認したところ、大規模小売店舗立地法により難しい状況であるという説明が本会議であったが、具体的な内容を教えていただきたい。

答 隣接するアリオ上尾の駐車場は、大規模小売店舗立地法に基づき、アリオ側から監督庁に約760台という届け出を提出している。この届け出の変更について担当者と調整したところ、現状では難しいということであった。また、隣接地の地主とも交渉したが、長期間の契約は難しいとのことである。今後も近隣の土地の活用状況を確認しながら、協議・対応していきたい。

市長提出議案に
対する反対討論

要旨

平成29年度上尾市一般会計補正予算(第5号)

共産党 マイナンバー制度は、国民一人一人に番号を付して管理し、徴税強化を進めるものである。情報漏えいの危険があり廃止を求めてきた。上尾市におけるマイナンバーカードの発行枚数は2万5619枚、交付率は11・2%と、約1割しか普及していない。

政府は、平成30年以降に女性の活躍のためマイナンバーと住民票などに旧姓併記する方針を決めた。システム改修のため、全国で今年度総額94億円かかり、来年度については幾らかかるかわからないということがある。

あらゆる面において問題が指摘されているマイナンバーカードのために多額の予算を使うものであり、反対する。



人事案件に同意

人権擁護委員に

- | | | |
|------|-----|-------|
| こじま | まさる | |
| 小島 | 勝 | 氏(再任) |
| たばた | かずこ | 氏(再任) |
| 太幡 | 和子 | |
| よしざわ | のりこ | |
| 吉澤 | 章子 | 氏(新任) |

人権擁護委員を推薦することについて意見を求められ、3名とも異議なき旨答申しました。

他市からの行政視察

10月25日/福岡県飯塚市議会

「上尾市産業振興ビジョンの概要等について」

10月31日/沖縄県嘉手納町議会

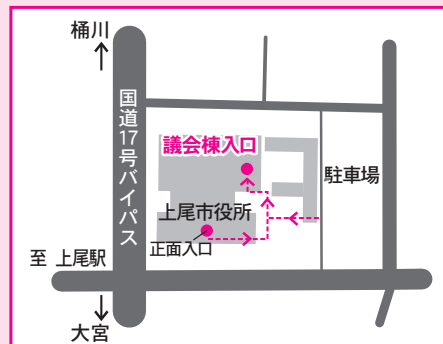
「ひとり親家庭・生活困窮者等学習支援事業について」

2月14日/埼玉県熊谷市議会

「保健師、助産師による産前・産後の訪問指導について」

傍聴にお越しく下さい

本会議は、原則として一般に公開されており、どなたでも自由に傍聴することができます。傍聴を希望する方は、市役所議会棟5階の傍聴口までお越しください。受付で住所・氏名を記入し、入場してください。議会の日程など詳しくは市議会ホームページをご覧ください。⇒議会事務局(TEL775-9467)



平成29年12月定例会提出議案とその結果

※詳しくは市議会ホームページの「議案」をご覧ください。



◎閉会中の継続審査の議案（6件）

- 議案第38号 平成28年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第39号 平成28年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第40号 平成28年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第41号 平成28年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第42号 平成28年度上尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第43号 平成28年度上尾市水道事業会計決算の認定について

◎市長提出議案（8件）

- 議案第65号 平成29年度上尾市一般会計補正予算（第5号）
- 議案第66号 平成29年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 議案第67号 平成29年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第68号 平成29年度上尾市水道事業会計補正予算（第1号）
- 議案第69号 専決処分の承認を求めることについて【平成29年度上尾市一般会計補正予算（第4号）】
- 諮問第3号 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて
- 諮問第4号 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて
- 諮問第5号 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて

◎議員提出議案（2件）

- 議案第9号 受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書
- 議案第10号 自動車損害賠償保険特別会計の繰戻しについての意見書

◎委員会提出議案（1件）

- 委第1号 上尾市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

◎本議会において賛否が分かれた議案

※ 一覧に掲載されていない議案は、全会一致で可決。
 ※ ○=賛成 ×=反対 □=退席 ※議長は採決に加わりません。

議案 (請願) 番号	議決 結果	新政クラブ							共産党				公明党				上尾政策フォーラム				無党派										
		尾花 瑛仁	新道 龍一	田中 一崇	斎藤 哲雄	小川 明仁	星野 良行	大室 尚	新井 金作	渡辺 綱一	嶋田 一孝	小林 守利	新藤 孝子	平田 通子	戸口 佐一	秋山 もえ	池田 達生	糟谷 珠紀	戸野 部直乃	前島 るり	長沢 純	道下 文男	橋北 富雄	海老原 直矢	浦和 三郎	井上 茂	町田 皇介	池野 耕司	深山 孝	野本 順一	
議案第 38 号	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	議長	○	□	□	□	□	□	○	○		
議案第 39 号	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 40 号	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 41 号	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 42 号	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 43 号	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 65 号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

1月16日 本会議
委員報告、討論、採決、各常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任、上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員の選挙、埼玉県都市競艇組合議会議員の選挙、議員提出議案の上程、採決、閉会

12月定例会の動き

平成29年 12月25日 本会議
開会、議案の上程、提出議案の説明、委員会提出議案の上程、採決

12月27日 本会議
提出議案に対する質疑、採決、委員会付託

平成30年 1月5日 委員会
総務・都市整備消防常任委員会

1月9日 委員会
文教経済・健康福祉常任委員会

1月10日 本会議
一般質問、委員長報告、討論、採決

1月11日 本会議
一般質問

各委員会 委員構成の変更

各常任委員会委員の任期は 2 年となっています。平成 29 年 12 月定例会において改選が行われましたので、新委員を紹介します。

※◎=委員長 ○=副委員長

常任委員会

上尾市議会では四つの常任委員会を設けています。各議員はそれぞれ一つの常任委員会に属し、議案・請願などの審査や所管事務の調査に当たります。

総務 常任委員会

所管事務 市政の企画・調整、広報・広聴、財政、市税、財産管理、市有建築物の建築・修繕、防災・危機管理、交通・防犯など
委員名 ◎小川明仁、○尾花瑛仁、平田通子、秋山もえ、大室尚、道下文男、池野耕司、深山孝

文教経済 常任委員会

所管事務 環境保全、廃棄物、農業・商工業振興、学校教育、生涯学習、スポーツ振興など
委員名 ◎長沢純、○田中一崇、井上茂、戸口佐一、嶋田一孝、糟谷珠紀、橋北富雄

都市整備消防 常任委員会

所管事務 都市計画、市街地整備、建設行政、開発行政、公園緑地、道路・橋りょう、上下水道、河川、消防行政など
委員名 ◎斎藤哲雄、○新道龍一、前島るり、町田皇介、池田達生、小林守利、野本順一

健康福祉 常任委員会

所管事務 福祉全般、子育て支援、青少年、介護保険、国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療、健康増進、生活保護など
委員名 ◎浦和三郎、○戸野部直乃、海老原直矢、新藤孝子、星野良行、新井金作、渡辺綱一

特別委員会

特定の案件を審査するために設置される委員会です。議会改革特別委員会以外に、全議員所属の西貝塚環境センターの入札に係る調査特別委員会があります。

議会改革 特別委員会

所管事務 議会改革を推進していくための調査・検討を行う
委員名 ◎星野良行、○尾花瑛仁、田中一崇、戸野部直乃、井上茂、秋山もえ、大室尚

その他の委員会

議会 運営委員会

所管事務 会期や議事日程などの協議・調整を行い、議会を円滑に進行させるとともに、議会に関する条例・規則などの審査を行う
委員名 ◎大室尚、○前島るり、星野良行、浦和三郎、井上茂、秋山もえ、新井金作、嶋田一孝、長沢純、池田達生

議会報 編集委員会

所管事務 議会報の発行、議会ホームページによる情報発信などの協議・調整を行う
委員名 ◎新道龍一、○戸野部直乃、尾花瑛仁、田中一崇、海老原直矢、新藤孝子、小川明仁、戸口佐一

**一部事務組合
議会議員**

地方公共団体の事務の一部を広域で共同処理するために、一部事務組合が設けられます。上尾市が構成団体となっている一部事務組合は二つあり、その組合議会に議員が選出されています。

**上尾、桶川、
伊奈衛生組合**

共同処理する事務 し尿の処理およびこれに附帯する事務

委員名 前島るり、戸口佐一、大室尚、新井金作、池野耕司

**埼玉県都市
競艇組合**

共同処理する事務 ①モーターボート競走法に基づく、モーターボート競争の施行に関すること②その他モーターボート競走の実施に関し必要なこと

委員名 小林守利

各種附属委員会等議会選出委員

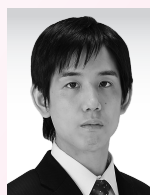
上尾市総合計画審議会	田中一崇、戸野部直乃、渡辺綱一、池野耕司、糟谷珠紀
上尾市地域創生総合戦略審議会	戸野部直乃、浦和二郎、戸口佐一、嶋田一孝
上尾・伊奈広域行政協議会	新道龍一、海老原直矢、平田通子、斎藤哲雄、星野良行、戸口佐一、渡辺綱一、長沢純、道下文男、町田皇介
上尾市介護保険事業計画等推進委員会	新藤孝子、斎藤哲雄
上尾市地域医療に関する懇話会	小川明仁、秋山もえ、渡辺綱一、池野耕司、橋北富雄、深山孝
上尾市国民健康保険運営協議会	尾花瑛仁、小川明仁、前島るり、浦和二郎、秋山もえ、野本順一
上尾市鉄道輸送力増強推進協議会	小川明仁、新井金作、道下文男、町田皇介、池田達生
上尾市空家等対策協議会	尾花瑛仁、平田通子、井上茂、長沢純
上尾市環境審議会	田中一崇、平田通子、橋北富雄
上尾市都市計画審議会	浦和二郎、渡辺綱一、池田達生、小林守利、橋北富雄
上尾市上下水道事業審議会	海老原直矢、星野良行、大室尚、糟谷珠紀、橋北富雄
上尾市スポーツ推進審議会	星野良行、井上茂、橋北富雄
社会福祉法人上尾市社会福祉協議会理事	道下文男
高崎線沿線地域活力維持向上推進協議会	道下文男
上尾地区暴力排除推進協議会理事	道下文男
上尾地方防犯協会	道下文男
上尾市表彰審査会	道下文男、町田皇介
上尾市健康づくり推進協議会	浦和二郎
上尾市子ども・子育て会議	戸野部直乃、浦和二郎
上尾市民生委員推薦会	戸野部直乃、浦和二郎
上尾市農業後継者育成確保推進対策協議会	長沢純
上尾市廃棄物減量等推進審議会	田中一崇、長沢純
上尾市立小・中学校通学区区域検討協議会	田中一崇、長沢純
上尾市消防賞じゅつ金等審査委員会	斎藤哲雄
上尾市上尾道路対策協議会	田中一崇、浦和二郎、秋山もえ、新井金作、嶋田一孝、道下文男、池野耕司、池田達生、糟谷珠紀、小林守利

退職議員について

秋山かほる議員が上尾市長選挙に立候補したため、公職選挙法第90条の規定により、自動失職となりました(12月10日付)。

新議員紹介

平成29年12月17日執行の市議会議員補欠選挙において、2人の議員が当選しました。任期は平成31年12月31日までです。



えびはら なおや
海老原 直矢

年齢 30歳
当選回数 1回
党派 無所属
住所 大字上1731-3
ベルウッド上尾上201
電話番号 771-3949



とぐち さいち
戸口 佐一

年齢 68歳
当選回数 1回
党派 日本共産党
住所 原市団地
4-7-405
電話番号 722-5550

平成28年度

決算審査



平成28年度一般会計決算、各特別会計決算など決算議案6件について審議を行い、認定しました。ここでは、決算特別委員会で出た総括意見と本会議の討論を中心にお知らせします（本会議の採決状況は5ページをご参照ください）。

決算の概要

歳入 634.3億円（前年度比+4.5億円、0.7%増）

地方消費税交付金が減少したものの、固定資産税の増加に伴う市税の増や社会保障関連経費の増に伴う国・県支出金の増などにより、全体では増加。

歳出 607.6億円（前年度比+9.7億円、1.6%増）

（仮）戸崎東部公園整備事業などにより、普通建設事業費が増加。また、年金生活者等支援臨時福祉給付金（繰越明許）や社会保障関連経費の増に伴い、扶助費などが増加。

決算収支 20.6億円（前年度比△4.6億円、18.2%減）

（実質収支） ※（歳入－歳出）－（翌年度へ繰り越すべき財源）

将来を見据えた財政運営を

委員会が出た
総括意見・要望

実 質収支は10年前と比べ、約2倍の20億円程度確保できている。

市 税などは不納欠損額や収入未済額が昨年度と比べ減少しているが、引き続き効果的な収入対策を。

よ り多くの人が行政サービスの恩恵を受けられるよう事業展開および予算執行を。

財 政の硬直化により、自由に動かせる財源が少ない。

財 源確保の観点から、子育て世代や若者世代に定住してもらおうための思い切った事業展開をしてほしい。

基 金残高は、昨年度よりも約4億8000万円増加している。今後も基金増額に努めてほしい。

歳 出では委託料の割合が多い。外部委託することで、

職員の技術力の低下を招き、設計や入札にも影響を及ぼすのではないかと懸念されている。委託料の割合減の検討を。

耐 震診断を終えていない市立保育所が6園あり、対応を急いでほしい。

小 ・中学校特別教室のエアコンの設置、安全な通学路づくり、市職員や教職員の労働環境の改善が必要である。

妊 産婦や高齢者、市民などへの支援事業は多々あるが、十分活用されていない。

新 図書館複合施設と（仮）戸崎東部公園の整備事業は、市民の声を聞き、合意を基本として進めてほしい。

大 規模店舗などの誘致により、固定資産税が増加したことは高く評価する。

水 道事業会計については、人口減少などの影響で収益の減少が見込まれるほか、

老朽化における維持管理費用もかかってくる苦しい状況ではあるが、適正に処理されていると感じており評価している。

ふ るさと納税を活用した午睡ベッド導入など、子育て支援に関する取り組みなど、引き続き推進を。

本会議における
討論

平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定について

共産党 財政の弾力度を示す経常収支比率は、昨年の94.6%から、95.8%に上がり、硬直化がさらに進んでいる。そうした財政状況下で、新図書館建設計画は市民への説明も不十分のまま進められており、住民投票条例の直接請求が行われたものの、議会は反対多数で否決された。それでもなお、建設用地と物件補償

実施報告

各常任委員会は、議会から付託された事件（議案・請願など）の審査以外にも、自主的に所管事務を取り上げ、調査を行っています。

今号では、平成28年以降に行った各常任委員会の調査項目についてお知らせします。

総務常任委員会

・ 上尾市のシティセールスについて（平成28年7月）

「上尾市シティセールス戦略」の策定や「キラリ☆あげおPR大使」の任命、「ことりっぷ」上尾版の発行など、シティセールス推進事業のさまざまな取り組みについて執行部から説明を受けました。

・ 鴻巣市民出演・制作の市民映画『幸ノ巣』について、コミュニティ放送の視察（平成28年10月）

シティセールスに関する理解を深めるため、鴻巣市民出演・制作の市民映画「幸ノ巣」を手掛けた㈱フラワーコミュニティ放送へ視察に赴きました。担当者からの映画制作に関する説明後、地域情報の発信を行うコミュニティ放送「フラワーラジオ」を視察しました。

・ 公共施設マネジメントについて、^{しんちよく}県央地域一日体験モニター事業について（平成29年7月）

市の公共施設マネジメントに関して、「上尾市個別施設管理基本計画」の概要と平成28年度の進捗状況、今後の主要な公共施設マネジメント全体工程についての説明を受けました。また、上尾市を含む県央地域4市1町の魅力的なスポットを、若い子育て世代に見学・体験してもらうバスツアー「県央地域一日体験モニター事業」の詳細と進捗状況について説明を受けました。



地域情報の発信拠点「フラワーラジオ」

・ 文化センターの改修・耐震補強、リニューアル工事について（平成29年9月）

リニューアルオープンを迎える文化センターについて、現地で執行部からの説明を受け、視察を行いました。

・ 新図書館複合施設整備事業について（平成28年4月～平成29年10月）

基本設計完成後の平成28年4月、実施設計に向けた平成28年8月、工事請負契約議案議決後の平成29年10月など節目の時期に、執行部に対し説明を求めました。

・ デジタル教科書、学校給食、プレハブ校舎について（平成28年7月）

市内全ての小中学校の教室には電子黒板が設置されています。平成26年5月の調査では、設置率100%は全市町村のうちで3%のみです。デジタル教科書を用いた授業を視察するとともに、学校給食の試食やプレハブ校舎の現状について調査を行いました。

・ 西貝塚環境センター及びごみ処理行政について（平成29年4～7月）

西貝塚環境センターは老朽化が進んでおり、平成35年に耐用年数を迎えます。施設の延命化や第二環境センターの建設、ごみ処理広域化の検討状況や、伊奈町クリーンセンターについて調査を行いました。

文教経済常任委員会



デジタル教科書での授業

常任
委員会

所管事務調査

都市整備消防常任委員会

- ・ **境橋について** (大字原市・伊奈町大字小室地内)、
吉野橋について
(大字原市・さいたま市北区吉野町二丁目地内)、
(仮) 戸崎東部公園について (大字戸崎地内)
(平成29年 6 月)

各事業の概要と進捗状況について、執行部からの説明を受け、現地調査を行いました。

- ・ **市有水路の安全対策について**
(大字中新井地内・大字地頭方地内)、
丸山都市下水路について (稲荷橋)、
丸山ポンプ場について (大字畔吉地内)
(平成29年 7 月)

市有水路の安全対策と、丸山都市下水路並びに丸山ポンプ場について、現地調査を行いました。



境橋について説明を受ける



丸山ポンプ場の視察

- ・ **生活保護について** (平成28年 7 月)

執行部から市の生活保護の概況や、取り組んでいる「上尾市自立支援プログラム」などの説明を受けた後、「暮らしサポート相談窓口」や「食育支援プログラム」などについて質疑応答が行われました。

- ・ **放課後等デイサービスについて** (平成28年10月)

市内にある放課後等デイサービス 2 施設へ赴き、施設の概要などの説明を受けました。その後、質疑や施設内の見学を行い、施設内における子どもたちの活動の様子などを視察しました。

- ・ **埼玉県立小児医療センターの視察** (平成29年 4 月)

病院スタッフからの概要説明、質疑などの後、センター内見学 (新生児科 (NICU)、小児救命救急センター (PICU)、エントランス、外来エリア、機械式駐車場 他) を行いました。さいたま赤十字病院と隣接することで、小児医療と周産期医療の充実が図られていることなどが分かりました。



障害者福祉サービス事業所で利用者の作業を見学

- ・ **西保健センター改修事業について** (平成29年 7 月)

西保健センター改修事業について執行部による説明、質疑後、西保健センターや医療センターなどの施設を現地調査しました。

- ・ **障害者福祉サービス事業所について** (平成29年10月)

市内にある障害者福祉サービス事業所を視察しました。施設の概要説明などを受けた後、リサイクルによるエコポット・コースターの製作や、パソコンを使ったPOP作りなどの作業を見学しました。

健康福祉常任委員会

一般質問

ここが問題
そこが聞きたい!

12月定例会の一般質問は、1月10・11日の2日間行われ、10人の議員が市政全般21項目にわたって市当局の見解を求めました。また、2日間で146人の方が議会を傍聴しました。各議員の一般質問の中から一部を掲載しました。詳細は市議会のホームページをご覧ください。

これからの阜山市政の方針は



星野良行
(新政クラブ)

問 阜山市長が市政運営を行っていく上での、基本的な理念とはどのようなものか。

答 これまで市議会議員、県議会議員として22年間、多くの政策提言に取り組んできたが、市長の立場となり、改めて市民のための市政の実現を目指していきたい。市民の声に真摯に耳を傾け、公正な政治、公平な行政を推進し、市民の信頼回復に向け、全力を傾注していく。

問 郷土への誇りを胸に、市民が夢を持てる「みんなが輝く街、上尾」の実現に向け、職員とともに一丸となって努めていく。
市長は選挙公約の

中で「第三者による調査委員会の設置」を掲げていたが、この「第三者による調査委員会」は、いつ、どのような目的で設置されるのか。また、委員会の人選はどのように行う予定か。

答 現在、他団体の事例を研究しながら準備を進めている。できる限り早い時期に再発防止のための第三者委員会を設置し、これまでの契約制度の検証や、事件が二度と起きないよう対応策の検討を進めていく。

委員会の構成は、弁護士などの資格を持つ学識経験者や、自治活動に豊富な経験を持つ市民の代表などを考えている。

その他の質問
・ 30年度予算編成
・ 商工会館

新図書館複合施設建設の今後は



前島るり
(公明党 上尾市議団)

問 新図書館複合施設建設工事を一時中止とした理由は。

答 前市長から辞職届が提出されたことを受け、今後新市長の意向を踏まえ工事の方向性を確認する必要があると判断した。

問 市長は、今後の新図書館複合施設建設の方向性を、いつまでに決定する予定か。

答 これまでの議会の経緯や市民の意見などを検証・検討し、なるべく早い段階で結論を出したい。

問 長寿社会とともに、若い世代を含む市民の学習意欲は更に高まると考えられる。図書館は、生涯学習の場、市の文化を担う大切な

施設である。新図書館建設を待ち望む市民の声にはどう応えていくのか。また、今後の図書館行政における市長の考えは。

答 新図書館複合施設の建設を待ち望んでいる市民の声も踏まえて、検討して結論を出していきたい。図書館は、あらゆる市民の学びの場、知の拠点として文化レベルの向上に寄与し、魅力ある街づくりのために必要なものと考えている。



新図書館複合施設
市民ホールイメージ図

その他の質問
・ 官製談合・入札妨害の防止への対策

喫煙者・非喫煙者の共生に向け 受動喫煙防止対策を



戸野部直乃
(公明党
上尾市議団)

問 喫煙は喫煙者本人だけではなく、受動喫煙により、周囲の人の健康にも影響を及ぼす。公明党上尾市議団では、駅周辺の喫煙所の苦情を受け、喫煙所に植樹帯を設置し、煙が広範囲に流れていかないよう、生活環境課に対策を要望をしているが、駅周辺の受動喫煙防止対策の考えは。

答 指定喫煙場所の周りに植樹帯を設置するなど、関係部署と連携を図り、分煙対策を進めていく。

問 市の喫煙所は、主として生活環境美化を目的とした路上喫煙防止条例に基づいて設置されているが、これからは健康に影響を及ぼ

す受動喫煙の防止を踏まえた喫煙所を設置してほしい。そのためには健康増進の観点から、喫煙者・非喫煙者双方が、受動喫煙防止についての意識を持つ必要がある。受動喫煙による健康被害について、あらゆる場所での意識啓発となる取り組みを進めていただきたいが、見解は。

答 各種健康講座、がん検診、妊婦教室などの機会に、たばこの害について啓発してきた。また、市ホームページにて、県が行っている全面禁煙・空間分煙実施施設の認証制度の案内などの啓発を行っている。

その他の質問

- 子育てワンストップサービス
- SNSを活用したい

はじめ対策

公約に掲げる「新図書館 複合施設などに見直し」とは



井上 茂
(上尾政策
フォーラム)

問 市長はパークゴルフ場や新図書館複合施設の仕事を一且凍結し、計画見直しも含めた検討を行うなど、箱物行政から転換して市の財政を立て直すことを選挙公約として掲げていたが、こうした事業の見直しを「市の財政立て直し」として位置づけた理由は。

答 図書館などのいわゆる箱物の整備は事業費が多額である。財政への影響も大きいことから、計画の見直しも含め検討の必要があると考えたものである。

問 建設工事の一時中止はいつごろまでになるのか。

答 これまでのさまざまな経緯を踏まえて検

証する時間をいただき、なるべく早い段階で結論を出していく。

問 人口減少の中、公共施設が老朽化する、その再配置や長寿命化が課題となる。他の自治体では駅前に図書館を配置し、そこに市民の施設を集約することで、まちのにぎわいを創出したという成功例もある。こうしたまちづくりにおける図書館の役割について、どのように考えるか。

答 図書館は、市民が図書と触れ合い、知識を吸収する場であり、子どもたちの心を育む場でもある。このように、市民の生涯学習を支援し、広い意味で市民文化の向上に寄与する施設であると考えている。人口減少の中においても、図書館は必要な施設と考える。

保育料、学童保育料、学校給食費、教材費の負担軽減を



秋山もえ
(日本共産党
上尾市議会議員団)

問 国・県では保育料負担軽減策として所得や年齢制限を設け0〜2歳児の第3子を無料としている。この制度の市内対象者数は。

答 平成29年12月1日現在、206人である。

問 第3子無料化の対象を独自に拡大している県内自治体は。

答 秩父市と本庄市で、対象年齢を3〜5歳まで拡大している。

問 市の学童保育料は県内で上から何番目か。

答 63市町村のうち24番目である。

問 保育料や学童保育料の負担軽減が必要だという認識はあるか。

答 経済的負担軽減の考え方は必要と認識している。

問 市の学校給食費は県内で上から何番目か。

答 小学校が3番目、中学校が2番目である。

問 学校給食費の補助や無償化を実施している県内自治体は。

答 一部補助は行田・坂戸・幸手・秩父市の4市、横瀬・寄居町などの9町村で実施し、無償化は滑川・小鹿野町で実施している。

問 市独自の助成による給食費や教材費の負担軽減・無償化を検討しているか。

答 給食費は食料費のみ負担であるため、現在は考えていない。教材費の無償化も現在は考えていないが、教材を精査し、保護者負担に配慮していく。

その他の質問

- 公契約条例の制定
- 手話言語条例の制定
- 障害児・者施策

(仮)戸崎東部公園
パークゴルフ場整備は見直しを



池田達生
(日本共産党
上尾市議会議員団)

説明し、理解を得られるよう対応する。

問 (仮)戸崎東部公園の子ども広場は高圧送電線の真下に計画されている。低レベルであっても電磁波により、小児白血病やがんの発生率が高くなる恐れがあると国際的な調査で発表されているが、子どもたちの健康への影響について見解は。

答 東京電力によると、この高圧送電線下での健康への影響はないとのことである。

問 自宅脇に調整池が掘られた住民から、家が傾く、井戸が使えないなど苦情が寄せられている。調整池を埋め戻すなどの対策は。

答 民家周辺の調整池の工事は完了している。住民には引き続き

説明し、理解を得られるよう対応する。

問 未着工の18ホール分は、地元住民・市民の声を生かした公園にしてほしいとの署名が行われ、署名で訪問した軒数の約70%が賛同している。この数値をどう捉えているか。

答 賛否さまざまな意見、要望を聞いている。事業凍結後の検討材料として参考にする。

問 現在整備中の工事についても問題が生じている。一旦工事を中断すべきと考えるが、今後の整備予定は。

答 問題としている件については適切に対応している。未着工18ホール分については、一旦凍結し、計画の見直しも含め検討する。

その他の質問
文化と芸術があふれる街を

市長タウンミーティングで
広く声を聴き、公平な市政を



平田通子
(日本共産党
上尾市議会議員団)

民の意見を聴く時間を設けるなどして、市民の声を各種施策に取り入れていく。

問 市長公約に掲げた「市政の透明化」の推進のための具体的政策は。

答 より広く市民の行政参加を促し、公正な意思決定につながるよう、重要な計画の策定でもその経過を積極的に公開していく。

問 「市民の力を引き出す街」とは。

答 市民自らの活動が、市の活気を生み出すと考える。その手段として市民活動団体への支援を行っていく。

問 「市民の力が行政に届く街」とあるが、どのように市民の声を聴くのか。

答 「市長へのはがき制度」などの活用や、地域に出向いた際、市

民の意見を聴く時間を設けるなどして、市民の声を各種施策に取り入れていく。

問 「市政の透明化」市民の力を引き出す街」「市民の力が行政に届く街」、この三つの施策が一体となって推進されることが必要であると考える。一方的な意見を聴くのではなく双方で声を聴き、市民参加を広げ、政策に生かすことが重要である。公平な行政を目指すため、県内自治体でも開催している「市長タウンミーティング」の実施を求めるが、市長の見解は。

答 市民から貴重な意見を伺うためにも、今後より良い方策について研究していく。

その他の質問
「子育て世代ががんばれる街」とは

徹底した点検で、
安定したごみ処理・搬入を



新藤孝子
(日本共産党
上尾市議会議員団)

一度も点検されていない。補修の必要箇所を早期に見つけなかったことは重く受け止めており、今後は業者と協力しながら点検、メンテナンス方法を検討していく。

問 平成29年12月の初め、焼却炉の故障により、安定したごみ処理ができず、ごみ出しを控える事態となった。原因は、ボイラー周りの水を循環する配管が、経年劣化により破損したためとのことである。市民からは「怠慢ではないか」「こうしたところに予算を割きメンテナンスしなければ、市民サービスの後退だ」と厳しい声が寄せられた。この事態を未然に防ぐことはできなかつたのか。

答 定期点検は、炉の建設業者が仕様書に則って行っていた。しかし、破損箇所は定期点検の対象外だったため、稼働から約20年、

一度も点検されていない。補修の必要箇所を早期に見つけなかったことは重く受け止めており、今後は業者と協力しながら点検、メンテナンス方法を検討していく。

問 ごみの搬入は、親族(2親等以内)が本人に代わって持ち込む場合、戸籍謄本・抄本などの提示が必要である。また、友人・知人の場合は、本人が同乗していても搬入できない。これは、近隣・地域での助け合いを掲げ、地域コミュニティを進めることの妨げにならないのか。

答 きめ細やかな市民サービスが求められている。ごみの搬入の課題についても早急に検討・対処していく。

その他の質問
介護保険事業の改善

増便・増車で利用しやすい「ぐるっとくん」に



戸口 佐一
(日本共産党
上尾市議会議員団)

問 原市瓦葺線は、運転間隔が平均3時間を超えている。市の調査でも「ぐるっとくん」を利用しない理由は「本数が少ないから」とある。全路線において1時間に1本運行することは市民の願いであるが、市の考えは。

答 増便にはバス車両の増車が必要となる。増車するには、車両購入費や人件費、燃料費などが発生する。これらを踏まえ、慎重に協議していく。

問 原市瓦葺線は、再編により発着所が上尾駅東口から西口に変わり、市役所などの公共施設や病院を通らなくなった。コースの見直しを求めるが、見解は。

答 市民ニーズや上尾駅東口発着の可能性を検証していく。

問 原市瓦葺線は再編前より不便になったという声が寄せられている。コース変更について計画段階から地域住民に開示したのか。

答 協議会で協議を重ねた他、市民コメント制度を活用し、市民や地域住民から広く意見を求めてきた。

問 コースの重なるバス停での乗り継ぎ券の発行の実現は。

答 該当する全バス停となると、バス運行への影響が懸念されるため、現状では難しい。

問 市民から要望の出ている、沼南駅での乗り継ぎ券発行の進捗は。

答 バス運行や乗降者数などを踏まえ、可能性を研究していく。

問 新聞記事に「新図書館の請負業者や前議長が属していた会派の議員と、支持拡大を求めて地域を回っていたとの指摘に対し、市長は幅広くいろいろな人の支援をいただいで選挙戦を乗り越えた事実を認めた」とあった。一般的に考えて業者は見返りを求めるのではと思う市民の疑問にどう答えるか。

答 私の政治姿勢は、公正な政治、公平な行政の実現なので、ご指摘のようなことはない。

問 市長は法定ビラで新図書館について、計画見直しも含めた検討を行うと掲げているが、どのように検討するののか。

答 これまでの議会の経緯や市民の意見などを私なりに検討する。



糟谷 珠紀
(日本共産党
上尾市議会議員団)

市民の願いに応え 新図書館建設は中止を

問 市長は民意を把握するために、どのように市民の声を傾けるのか、具体的方法は。

答 新図書館複合施設は、これまでの経緯をよく精査、検証して決めていきたい。

問 駅に近い現本館は、病院、銀行、買い物など、市民生活の動線上に位置しており、移転する合理的理由はない。市民の利便性向上の観点から、分館、公民館図書室を優先して整備すべきだと考えるが、市長の考えは。

答 図書館サービスを向上させることは市民にとっても大変重要であると考えている。

問 市長は法定ビラで新図書館について、計画見直しも含めた検討を行うと掲げているが、どのように検討するののか。

答 これまでの議会の経緯や市民の意見などを私なりに検討する。

その他の質問
市長の政治姿勢

こんな活動もしています

「上尾市議会動物と共生する社会を推進する議員連盟」(略称：動物議連)は、市内小・中学校で「動物愛護教室」を開催しています。この事業は、成長の過程で大切な時期である子どもたちに、一つしかない命の尊さを伝え、思いやりの心を育む取り組みです。平成29年度は上尾中学校(8月29日)、原市小学校(10月10日)、大谷中学校(10月27日)で開催され、埼玉県動物指導センターの職員が講師となり、ペットを飼う際の心構えや飼い主が守るべきルール、犬・猫の処分を減らすための取り組みなどが説明されました。

子どもたちは事業を通じて、上尾市が上尾伊奈獣医師協会と協力し、野良猫を減らすために地域猫活動や、全国で初めて無料で不妊・去勢手術を行っていることなどを学びました。



飼い主が守るべきルールを学ぶ(上尾中学校)



3 月定例会日程(案)

※ 2 月 15 日現在の情報で作成して
ます。正式な日程は市議会ホー
ムページをご覧ください。

- 2 月 22 日 開会
- 28 日 質疑、委員会付託
- 3 月 1 日・2 日 委員会
(総務、都市整備消防)
- 5 日・6 日 委員会
(文教経済、健康福祉)
- 8 日・9 日、12 日～14 日
一般質問
- 19 日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定
しています。

委員会活動 H29.10.16～H30.2.15



▲健康福祉常任委員会の審査の様子



▲図書館本館地下書庫の現地調査
(文教経済常任委員会)

*** 3 月定例会は、
2 月 22 日(木)から
開会中です。**

上尾市議会ではイン
ターネットを利用した議会
中継(ライブおよび録画)
を行っております。

詳しくは、議会事務局
(☎775-9467) へお問い
合わせください。

上尾市議会HPアドレス

<http://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>



議会報編集委員会

- 委員長 新道 龍一
- 副委員長 戸野部直乃
- 委員 尾花 瑛仁
- 委員 田中 一崇
- 委員 海老原直矢
- 委員 新藤 孝子
- 委員 小川 明仁
- 委員 戸口 佐一

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	1/5 1/16	・ 12月定例会提出議案 2 件を審査 ・ 正副委員長の互選
文教経済 常任委員会	10/27 1/9 1/16	・ 所管事務調査「図書館本館の後利用について」 ・ 12月定例会提出議案 1 件を審査 ・ 正副委員長の互選
都市整備消防 常任委員会	1/5 1/16	・ 12月定例会提出議案 2 件を審査 ・ 正副委員長の互選
健康福祉 常任委員会	1/9 1/16	・ 12月定例会提出議案 2 件を審査 ・ 正副委員長の互選
議会運営委員会	11/7～9 11/29～ 1/16 2/1	・ 議会運営について協議(協議回数 8 回) ・ 議会運営について協議(協議回数 13 回)、 正副委員長の互選 ・ 議会運営について協議
西貝塚環境セン ターの入札に係る 調査特別委員会	11/9 12/6 2/15	・ 正副委員長の互選 ・ 調査の運営方針について、議会の調査権について、 提出要求する書類について、今後の日程について 協議 ・ 入札制度の流れについて、事前通告された質問に 対する回答について
議 会 報 編 集 委 員 会	10/18 11/21・ 12/7 1/11 1/16 2/14	・ 「あげお議会だよりNo.182」の内容について協議 ・ 「あげお議会だよりNo.183(1月臨時号)」の内容 について協議 ・ 「あげお議会だよりNo.184」の内容について協議 ・ 正副委員長の互選及び「あげお議会だよりNo.184」 の内容について協議 ・ 「あげお議会だよりNo.184」の内容について協議

一意見書 2 件を原案可決一

12月定例会最終日の1月16日、議員提出議案として意見書 2 件を提出し、
可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求
める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 厚生労働大臣 衆議院議長 参議院議長

◆自動車損害賠償保険特別会計の繰戻しについての意見書

提出先⇒内閣総理大臣 財務大臣 国土交通大臣 衆議院議長 参議院議長